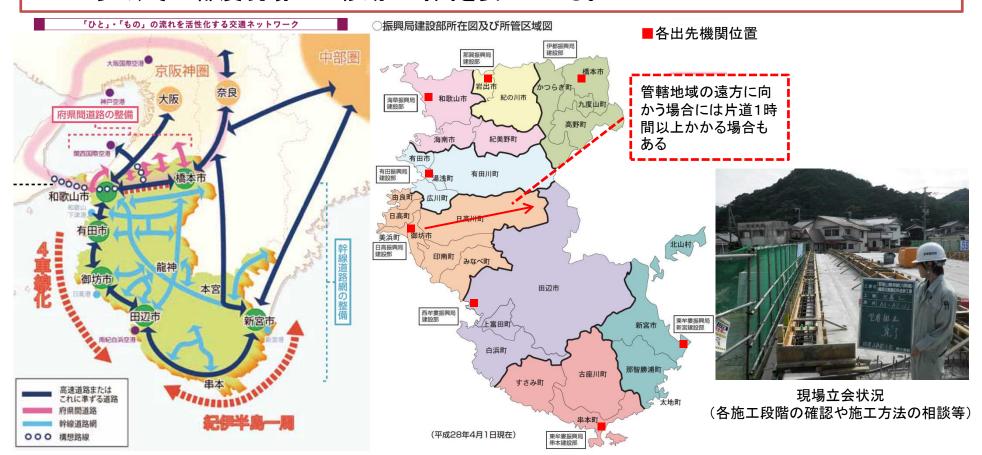
No.13 ICT技術の活用による工事現場と事務所間での簡易的な映像協議技術

ニーズの概要

- ●出先機関における工事監督業務として、現場立会時の移動時間が大きなウエイトを占めている。(遠方の場合、片道1時間(往復2時間)程度を要す。正規勤務時間の約25%)
- ●内容によっては電話だけで対応できる場合もあるが、それだけでは困難で現場に赴くケースが多く、その都度現場への移動に時間を要している。



No.13 ICT技術の活用による工事現場と事務所間での簡易的な映像協議技術

期待するシーズ

●現場と事務所で簡易的に映像協議できるような技術があれば・・・



発注者側の移動時間の大幅な時間短縮

受注者側の手待ち時間の縮減

リアルタイムでの 音声+映像+3次元図面データ等 を用いた映像協議

事務所 (発注者)

工事現場 (受注者)

★期待する利用ツール 通信端末(タブレット、専用端末) ドローン等を用いたリアルタイムな現地可視化 山間僻地でも対応できる技術(通信問題等)

発注者及び受注者共に大きな時間短縮効果があり建設現場の生産性向上に寄与する!!